

我がまちの

名工7人

南国市技能功労者表彰



昨年11月21日、永年同一職業に従事し、優れた技能を社会発展のために役立て、功績のあった技能職者を顕彰する「平成15年度南国市技能功労者表彰式」が、グレース浜すしで行われました。
受賞者の皆さんをご紹介します。
(順不同)



建具技能士 / 昭和4年7月25生まれ

昭和28年から建具業として50年になります。当時からは随分と変わり、コンピューターなどの機械も導入し、速く正確な製品ができるようになりました。今後も新しい技術に挑戦し、微力ながら積極的に取り組んでいきたいです。



秋月 博さん(陣山)

大工(宮大工) / 昭和27年3月10生まれ



いろいろな神社・仏閣を見学し、本などで独学で宮大工を学びました。宮建築の機会をくださった方々やともに仕事をしてくれる多くの方々の協力があったの宮建築です。これからも今まで以上に精進し、後継者への指導に努めていきます。



前中 善雄さん(大甲)

鍛造工 / 昭和14年3月15生まれ



父と兄の影響から始めた打刃物は約50年になります。高齢に伴う廃業、後継者不足の中で、幸い二人の息子も同じ道を歩んでいます。今後は、新商品開発・土佐打刃物の活性化に取り組むとともに、伝統的技術を残していくための環境づくりができればと微力ながら思っています。



戸梶 忠義さん(稲生)

左官 / 昭和18年12月11生まれ



今まで44年、先輩方や同僚の皆様のを借りながら、左官業一筋にまい進してきました。時代の流れとともに住宅事情も変化し、左官独自の技術を必要とする家屋も減少していますが、後世のためにも、伝統ある土佐漆喰や日本壁の持ち味の良さを伝承していくとともに、今後も一層技術の向上に努めていきます。



西田 康延さん(下野田)



金属加工作業工 / 昭和16年1月1日生まれ
旋盤加工

15歳頃より旋盤工として基礎技術を習得して40数年、仲間と仕事に恵まれ今日に至っています。常にチャレンジ精神を忘れずに、創意工夫を重ねて困難な仕事に対応できたときは大きな喜びを感じます。

今後は、習得してきた知識、技術を若い人たちに伝えていくことに力を注いでいきたいと思っています。



大石 信樹さん(比江)

農業技能者 / 大正14年12月2日生まれ



二期作の原型といわれる再生稲の研究に取り組み、万一の凶作対策としての技術確立を目指して30年が過ぎました。水稻の種子生産を地産地消の方式にと稲生採種組合を結成し、より良い種籾作りに励むとともに、稲生小学校の農園で生徒たちと芋や米作りの伝承を楽しんでいます。



橋詰 之夫さん(稲生)

農業技能者 / 昭和16年10月17日生まれ



昭和40年代から農業を始め、四方竹に着目してからは地域の方々と共に、ポイルや皮剥ぎの技術の開発に取り組み、生産拡大に努めてきました。

今後も一層品質の向上、安定に努め、中山間地域の一大品目としてさらに成長するよう努めていきます。



筒井 和美さん(白木谷)

新体制が決定

助役 収入役 監査委員 教育長



竹中 守 収入役



橋詰 壽人 助役



西森 善郎 教育長



北岡 穆 監査委員

1月14日に開かれた第303回市議会臨時会において、任期満了にともなう助役、収入役、監査委員、および教育委員会委員の選任の同意が行われました。
橋詰 壽人 助役、竹中 守 収入役は再任、濱田 勲 監査委員の後任には、北岡 穆 氏が、教育委員会委員には、中山 博之 氏、速瀬 愛子 氏、西森 善郎 氏の3氏が再任されました。また、これをうけて教育委員会臨時会が開かれ、教育長に西森 善郎 氏が再任されました。